

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使うてほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 血清 Angiopoietin-1/-2 濃度の肺高血圧症バイオマーカーとしての有用性</p> <p>研究の対象 1980年1月から2022年11月までに右心カテーテル検査で確定診断した肺高血圧症の患者</p> <p>研究の目的 肺高血圧症は様々な原因によって肺動脈圧が持続的に上昇する予後不良な疾患であり、早期の診断・介入が予後改善に寄与するものと考えられます。しかしながら、現在のところ早期診断に有効な血液検査（バイオマーカー）がありません。肺高血圧症は肺血管のリモデリングが病態形成に関わりますが、Angiopoietin（アンジオポエチン）とい糖蛋白の測定が肺高血圧症の診断に使用できるのではないかと考えています。本研究では、肺高血圧症患者の血液中のアンジオポエチン濃度を測定して右心カテーテル検査結果などの検査所見や症状などの臨床所見との関係を検討し、肺高血圧症の新規バイオマーカーとしての有用性を検討します。</p> <p>研究の期間 2017年12月から2022年11月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関からの試料・情報は浜松医科大学へ集積し解析します。浜松医科大学の外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等 試料：血液（残余検体）</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者 公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科：副院長 近藤康博</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 内科学第2講座 教授 須田隆文</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：保健管理センター 担当者：榎本紀之 TEL：053-435-2158 E-mail：norieno@hama-med.ac.jp</p>